

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ

人生観が変わった海外勤務



栗原市商工観光部田園観光課 主査 高橋 裕幸

シドニー事務所では、現地の自治体や公共機関と係わ
る中で、社会制度や生活習慣に触れ、国際的な視点から
多くの未知なる違いを体感できたことが、私にとって貴
重な財産になっています。

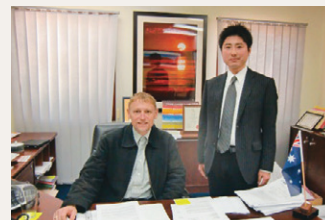
日本では「働き方改革」が議論されていますが、現地
では、フードコートやクリーニング店などの商業施設は、
営業時間が短く日曜休業で、ほかの業種でも時間外労働
は少ない傾向にあったように思います。仕事よりも家族
とプライベートを重要視するのが当然、との国民性が根
底にあるのだと感じました。

就職においては、前歴を生かした転職を繰り返し、交
渉と契約を経て、昇給していくシステムが一般化してい
ました。これは公務員でも同様で、終身雇用や人事評価
のあり方が議論される日本からすると、先進性を感じる
ものでした。

日本の文化や産業技術に対する現地の評価は高いもの
でした。インターンシップとして、世界有数の鉱業エリ
アである西オーストラリア州イーストピルバラ市役所で
1 週間勤務しましたが、この鉱山開発には日本企業が
大きく貢献しており、地域における日本への評価はかなり
高く、敬意と友好感情はとても深いものでした。

そんな中で、海外勤務は、自分の地元である日本や栗
原を再認識する機会でもありました。公私にわたり自己

紹介の機会は多く、初
めは上手く説明でき
ず、自分の理解の甘さ
を痛感させられまし
たが、日本への再認識
と現地の高評価が相ま
つて、日本人であるこ
とへの誇りが高まったことを実感しています。



イーストピルバラ市 CEO と

クレアでの海外勤務から得た体験は、それまでの価値
観を覆すものが多く、私の人生観までも変えてしまっ
たように思います。

帰国後は、スウェーデンやオーストラリアとの交流事
業、東京オリンピック開催に伴う誘致事業、インバウ
ンド推進事業などに携わっていますが、常識にとらわれず、
誇りを持ってアピールすることを心がけています。この
意識は、クレアでの海外勤務から得られたものです。こ
れからも、クレアでの経験を活かし、地域に貢献してい
きたいと思います。



在日オーストラリア大使館での誘致業務



全豪地方自治体協会総会でのブース出展

プロフィール

- 現職：栗原市商工観光部田園観光課
- クレア時代の所属：
 - 2009 年 4 月～ 東京本部交流情報部国際情報課
 - 2010 年 4 月～ シドニー事務所